

松本大学と地域をつなぐ情報誌

ゆめ通信

Vol.17
2010.11.10 (Wed)

地域と連携したひろびろびと
大学教育のフィールドを
開催

地域づくりに貢献『ゆめ』の
21st 開催

◆ 様々な回遊に絡む

◆ 地域と連携
大学教育したひろびろびと
フィールドを
開催

◆ 新プロジェクト紹介 etc ◆
◆ ゆめひろば通信 ◆

◆ 展覧会レポート ◆
◆ 学生ゆめ ◆

◆ 活動紹介 ◆
◆ Information ◆



学校法人松本学園
松本大学

“ゆめ”の由来…結芽『ニーズの芽を結ぶ場所』+夢+遊眼『遊び心の視点を持つ眼』
地域づくり考房『ゆめ』は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に生かしていくことを目指しています。

地域と連携したひとづくりと

9月22日～23日、本学を主たる会場として、“地域と連携したひとづくりと大学教育フォーラム”が開催されました。テーマは「地域と連携した大学教育をどのように評価していくか」。大学関係者、地域の方々、高等学校関係者他、県内外から110名の参加者があり議論を交わし、交流を深めました。今回のフォーラムは、松本大学の学生が主に運営にかかわり、様々な場面で活躍が見られました。

1日目

セッション1 松本大学総合経営学部「社会活動」成果報告会



(正課科目による松本大学生の地域での活動成果報告)

本学正課科目「社会活動」を前期に履修した学生の活動報告会が行われ、フォーラムの参加者も発表に耳を傾けました。地域とのかかわりを通し実践から学んだ成果をまとめ、指導にあたってくださった地域の方々からもコメントを頂きました。1年次から地域に飛び出し、実践から社会常識を学ぶスタイルに、参加者から驚きの声も聞こえました。

セッション2 「ゆめシアター」(学生支援GPと地域づくり考房『ゆめ』の紹介)

本学総合経営学部長木村晴壽教授より『ゆめ』の活動が文部科学省「学生支援GP」に採択された経緯の報告がありました。また、『ゆめ』のプロジェクトを撮影している“ゆめ撮影隊”と学生スタッフによる考房『ゆめ』の活動ダイジェストDVDの上映があり、かえるまつり、松風連、こども広場、上高地線応援隊、子ども見守り隊、お店で楽しい縁側づくり等の活動が紹介されました。『ゆめ』の活動を学外の方に紹介したい！という学生の思いが伝わる上映会でした。



セッション3 フィールドビジット

参加者は2コースに分かれて視察に出かけました。ガイドを務めたのは観光ホスピタリティー学科の1年生。現地では活動紹介も行われ、まさに学習の実践編！でした。

コース1:松本市内観光及び市街地の地域交流拠点「松本大学ゆめひろば」視察

大学を出発し、松本城へ。散策を楽しみ、縄手通り、中町散策を経てゆめひろばに到着。ゆめひろば前で規格外野菜の販売をしている“新鮮ゆめ市場”とゆめひろばの活動紹介がありました。



コース2:大学のある新村地域で行われている地域活動の視察

まずはみすず屋さんに到着。お茶をいただきながら“お店で楽しい縁側づくり”の実践活動紹介がありました。徒歩で新村公民館と福祉ひろばに向かい、“新村の福祉を考える”“新村音楽祭・運動会”“ひよこの会”の活動報告がありました。続いて“上高地線応援隊”の拠点となる新村駅内の旧電車内で活動が紹介され、新村駅から北新・松本大学前駅まで上高地線に乗り、乗車率アップの一助となりました。



1日目の夕方、交流懇親会が行われました。『ゆめ』や各ゼミから生まれた食品が紹介されました。地域とかがわって生まれたおいしい食べ物で、癒れも癒されたようでした。

学生スタッフ考案のひと工夫されたビンゴで親睦も深まり、楽しいひと時となりました。

交流懇親会 担当:

総合経営学科2年 大平 実季

工夫した点は、ゆめプロジェクトの料理をバイキング制にしたことと、47都道府県ビンゴの用紙を二人一組にして実施したことです。バイキング制にしたことで、ゆめの人達との交流が生まれました。また、ビンゴでは、二人一組にしたことで場がとても盛り上がりました。初めての体験で不安や失敗もありましたが、周りの沢山の人の協力によって何とか成功したので良かったです。

大学教育フォーラム

200

第1部 シンポジウム テーマ「地域連携による教育をどう評価するか」

パネリスト

岐阜経済大学経済学部教授 地域連携推進センター長 鈴木 誠 氏

東北公益大学公益学部公益学科教授 伊藤 真知子 氏

松本大学総合経営学部総合経営学科教授 総合経営学科長 木村 晴壽 氏

コーディネーター

松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授 学科長 白戸 洋 氏

冒頭では、パネリストの方々に各大学での取り組みについてご報告いただきました。それぞれの大学で、スタイルは異なりますが、学生が積極的に地域活動に取り組んでいる様子が分かり、情報交換がされました。その後の議論では、「大学教育としての地域活動の成果は在学中だけではなく、卒業後に生まれるものもあるのではないか」、「どこでも活躍できる地域社会のリーダーの育成が必要ではないか」等、人材養成の観点からの評価について話し合われたほか、評価のスタンダードは作れるのか、という論点から大学相互間評価や高校との連携による総合評価の必要性が改めて認識されました。会場の参加者も真剣なまなざしで聞き入っていました。



第2部 グループディスカッション：一般セッション／学生セッション

第2部では、一般参加者と学生参加者に分かれ、それぞれテーマにそって話し合いが行なわれました。

一般セッション 「地域活動を評価する」

大学関係者、地域の方、卒業生等が、シンポジウムの内容を踏まえて、大学間の経験やそれぞれが抱えている問題点を話し合い、意見を交わしました。大学間交流や高大間交流による評価システムの可能性や、よりよい教育的評価の在り方について活発なディスカッションが行われました。



学生セッション 「学生が地域で学ぶ意義」

学生参加者はグループに分かれ、アイスブレイクの後ワークショップが行われました。自ら取り組んでいる活動の問題点・課題点をお互いに出し合い、今後に向けて話し合う中で、地域で学ぶことの意義を認識しました。

フィールドビジットコース2 観光ガイド担当:

観光ホスピタリティ学科1年 和田 明日香

長野市出身の私が、松本市に来て見たもの、知ったこと、あらゆる感動をそのまま伝えたいと思い、夏休みから市内観光の構想を練っていました。当日は、雨が降ったり時間通りに進まず少し戸惑ったところもありましたが、参加して下さった方々からお褒めの言葉を頂き、自分のガイドに大変満足出来ました。観光ホスピタリティ学科を代表する大変重大な役割でしたが、時間をかけて準備してきた甲斐がありました。来年は今年よりもグレードアップしたガイドが出来ると思っています。誰かに何かを伝える機会はあるものではありません。そのような貴重な体験をしたことで、私自身、一つ成長できたのではと思います。

学生セッション グループリーダー担当:

観光ホスピタリティ学科3年 茅野 静香

学生セッションでは、1年生から4年生、卒業生や他大学の学生など様々な人が集まり、携わっている地域活動について、やりがいや課題点、解決策を話し合いました。それぞれ違う活動をしているのに、課題点などで共感することが多くあり「1時間では足りない」と言ってもらえるほど内容深い話し合いになりました。

改めて課題点の見直し、その解決策を話し合ったことで、今後の活動にさらに活かしていけることを期待します。

梓森 乃祭

地域づくり考房 『ゆめ』ひろば

平成22年10月9日・10日

松本大学の学生とOBやOG、そして、地域のみなさんと一緒につくった交流広場。
今年もいろんな出会いがあり、学生と地域、地域の人同士の交流の場になりました。



南安曇農業高校草花研究部 & 学生

授業の一環で育てたガーデンシクラメン等の販売とパネル展示を行いました。
「ガーデンシクラメンは普通のシクラメンとは違い、外に植えることもできます。
年齢に限らず幅広い方と交流できることを期待して参加しました。」
(伊藤かづきさん、中村友香さん)



上高地線応援隊

新聞やテレビでも話題になった「すべらないすな」を販売。製作風景はHP
にも掲載中！
「地元に関心を持ってもらい、地元の交通機関である電車やバスにも関心
を持ってもらえるとうれしいです。」(林公介さん)



第2コムハウス・ゆい

「若い人は頭が柔らかく、すぐに馴染んでくれるのでうれしいです。いろんな
サークルや学生と交流しながら、知的障害を持った人と学生とが接する機会を
増やしていき、こういう人がいるのだという理解を深めていってほしいも
のです。」(宮崎勇さん)



33(ミミ)がわりプロジェクト

タイピングの体験や音声なしで何をしゃべっているかを判断する体験を実施。
「要約筆記で難聴児さんの支援をしています。普段は小学校の授業の支援や松大にい
る耳が聞こえにくい人の支援もしています。もっとこうした活動をPRしていきたい
し、一緒に活動してくれる学生も募集中です。」(鈴木陽一さん 学生)



さわらびの会

お休み処でお茶やお漬物をサービス。おにぎりなども販売しました。
「在学中に交流していた卒業生が立ち寄ってくれて、頼もしい姿になっていま
した。松本大学はオープンな大学で、そんな大学が地元にあることがありが
たいです。今後は外国の学生とも交流していきたいです。」(浅倉節子さん)



出展団体一覧：かえるまつり／上高地線応援隊／木曾漆器祭・奈良井宿場祭実行委員会&「インターンシップ」履修
生／こども広場／Sign／さわらびの会／JA松本ハイランド女性部／持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪／松風連／
Sweets／第2コムハウス・ゆい／チーム青い空／長野県警察&松本大学子ども見守り隊／和みの道／南安曇農業高等学校草
花研究部&学生／新村公民館／ベーカリー麦の穂／ヘルシーメニュー／33(ミミ)がわりプロジェクト／ゆめ撮影隊

長野県警察 & 松本大学子ども見守り隊

「学生が防犯ボランティアで、小学校などと連携しながら登下校の安全確保に協力してくれています。地域に根ざした大学なので、さらに連携していきたいです。また防犯ボランティアに参加してくれる人を募集しています。県警のホームページもご覧いただき、防犯にご協力ください。」（長沼秀治さん）



JA松本ハイランド女性部

「みんな楽しみながら関わっています。普段は毎月第3水曜日にJA松本ハイランド新村支所の新村新鮮野菜市で販売しています。学生もボランティアでお手伝いしてくれていて、お客さんも学生が来ていると反応が違います。積極的に関わってくれていて、今時の若者も捨てたものではないなと感じています。」（北原富子さん）



木曾漆器祭・奈良井宿場祭実行委員会 & インターンシップ履修生

木曾漆器の展示や漆塗り体験を実施

「4月から松本大学と交流をはじめ、漆器祭などを見てもらいました。学生の意見を作品づくりや商売に取り入れていこうと思います。松本大学は地域や産業、NPOとのかかわりが深い大学で、学生にとっても実社会との関わりが持てるととても有意義だと感じています。」（荻村彰さん）

「地域と関わることで企画力や協調力、アイデア力が培われ、学生にとって成長できる機会になります。企画したことをプレゼンし、地域の方と一緒に意見を言い合うことができるのは楽しい。木曾漆器祭などがもっと全国区に広がることを目指したいです。」（百瀬精一さん 学生）



ゆめ撮影隊

地域にいる映画製作者の作品をより多くの人に見てもらうことで、地域づくりに貢献しようとの思いから「ゆめシアター」を実施。今回『ゆめ』の活動に関わりのある作品を3本上映しました。

「低予算でも面白い映画を作ることはできます。映画を見てくれた人が自分にも作れるかもと思ってもらえたらうれしい。この企画が続いて、映画制作者から上映依頼が来るようになればよいと思う。」（宮原利政さん 学生）

「いろいろな人が見に来てくれて関心を持ってくれて良かったです。みんな喜んでくれていたと思います。映画を作るときは、台詞を覚えたり、セットを作ったりするのが大変でした。でも完成したのを見たときはとても達成感がありました。」

（中川真志さん クラスのみんなと映画を作った小学生）

ゆめシアターを見た人からは、「内容がおもしろかった。知らない映画を知ることができて良い機会でした。」という感想を聞くことができました。



第1回

松本大学地域貢献大賞

「地域を活かす人づくり大学」をコンセプトに、地域に根ざし地域に貢献できる人材づくりを目指している松本大学。ゼミ、研究グループ、考房『ゆめ』から7チームが発表し、5チームが大賞を受賞しました。

考房『ゆめ』プロジェクト、大賞受賞団体

松風連-エプソンユニオン賞

上高地線応援隊-ものぐさ太郎賞

松風連より、副賞の最新エプソンプリンターを考房『ゆめ』に寄贈していただきました。各プロジェクト活動に有効に活用して下さい。



7月に実験的に行ないました野菜市から、新プロジェクト“新鮮ゆめ市場”が発足し、始動。高綱中学校、自立支援学級大久保カンパニーの生徒による野菜市も同時開催しました。また、今年2度目となる「こども広場」も行われ、夏休みには、サークル活動「MIC総合美術部」「写真部」による展覧会等、ゆめひろばで学生主体の活動が活発に行なわれました。

“新鮮ゆめ市場”が発足しました！

私たち新鮮ゆめ市場は、12月の第一週までの月2回、第一・第三土曜日にゆめひろば前で塩尻の小坂田フレッシュマーケットの方をはじめ沢山の地域の方と関わりながら野菜や果物、加工品を販売しています。

7月から始めたプロジェクトなので、まだ試行錯誤しながらではありますが中学生とも野菜の販売を通して交流をしつつ楽しく活動しています。また、11月6日の野菜市からはハンデをもった方が作った地産地消のお豆腐など、大豆を使った加工品も販売予定です。

これからも、生産者や地域の方と関わりつつ楽しく活動に励んでいきたいと思えます。
(観光ホスピタリティ学科1年 若林 みどり)



大久保カンパニーは8/7・8/12・8/21に松本大学ゆめひろばで学生さんの協力を得ながら販売活動を行いました。僕たちは特別支援学級の学習として、野菜の栽培から販売まで行なっています。その活動を大久保カンパニーと呼んでいます。収益金は行事の活動費や12月の校外学習(社員旅行)に使う予定です。昨年度は収益金で寄付しました。

初めてゆめひろばで学生さんと一緒に販売したことで、いつもの販売とは違いつても楽しい販売ができました。また、お客様に「ありがとう」と言われたことで、野菜を大切に育てて良かったと思えました。用意した野菜もほとんど売ることができ、収益も上げられました。
(高綱中学校大久保カンパニー社長 大久保 颯人)



☆ゆうゆうの会☆

こんにちは。私たちゆうゆうの会は、障害のある人もない人も、若い人も年配の人も共有した時間の中で、楽しいこと、やってみたいことを見つけ、教えたり教えてもらったりしながら何かを発信し、見つける。そんなことを目的として、障がい者、その家族、その友達、松本大学のOB、学生などが集まり、約2ヶ月に1回のペースで活動を行っています。

まだ発足したばかりの活動ですが、カタクラモールに集まり、みんなで楽しくお茶を飲んだり、お話ししたり、小物を作ったり、絵を描いたり…と1人1人がとても楽しい余暇を過ごしています。なによりアットホームなところがとても素敵だと感じています。

私たちは、実際に障がい者と関わりを持つことは初めてで、最初はとても不安でしたが、メンバーの皆さんにとっても恵まれていて、支えられて、自然と打ち解けることができました。

最後に宣伝ですが、11月7日(日)～14日(日)カタクラモールのゆめひろばにて、ゆうゆうの会の作品展を行います。障がい者の方が描いた素敵な絵、作業所で作った手作りお菓子や小物、メンバーが作ったアクセサリーの販売もあります。ぜひ多くの方のお越しをお待ちしています。

(松商短期大学部1年 原 婦美恵・足立 理加)



《お問い合わせ先》

松本大学ゆめひろば(カタクラモール南口)
〒390-0811 長野県松本市中央4-9-43
TEL: 0263-37-7210 FAX: 0263-34-7224
E-MAIL: yume_work_station@yahoo.co.jp
開館時間: 午前10:00～午後7:00
休館日: 毎週月曜日

学生ゆめ

9月までの暑さが嘘のよう。10月に入り、すっかり涼しくなりました。秋真っ盛りですね。みなさんは秋とういって何を思い浮かべますか？『食欲の秋』？『読書の秋』？『スポーツの秋』？『芸術の秋』？それとも……？

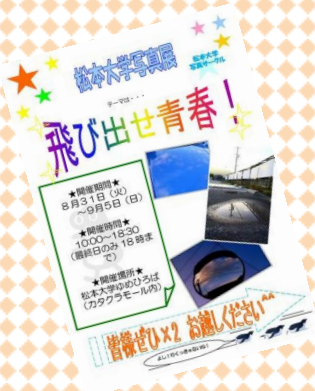
今回の『学生ゆめ』ではゆめひろば（カタクラモール内）にて8月17日（火）～8月22日（日）に開催された松本大学MIC総合美術部の学生による作品展。続けて8月31日

（火）～9月5日（日）に開催された松本大学写真サークルの写真展の紹介をしたいと思います。展覧会までの準備や当日の様子を部長さん、サークル長さんにインタビューしました。

秋より一足早い時期に行われた二つの芸術展。これを参考にあなたの今年の『秋は芸術の秋』としてチャレンジしてみたいかがでしょうか。



ゆめひろば展覧会
記念合作「光と闇」



サークルメンバーが見つけた
「青春」

MIC総合美術部展覧会 彩～Irodori～

・MICとはなんですか？

マンガイラストサークルの略です。イラスト、小説、立体造形、ゲームの4つに分かれて現在活動中です。

私のMICに入ってから感想は、先輩後輩関係なく仲が良く、楽しいサークルだということです。でも、みんな作品に対してはとても真剣でお互いを高め合おうとしていると思います。そんな人たちが集まったサークルです。

・ゆめひろば展覧会記念合作を作成するのにどれくらいかかりましたか？

模造紙の「光と闇」は3週間くらいで、絵本は1カ月くらいかかりました。

・手作り絵本はとても凝っていると思いますが作成するのに大変だった点や、感想などあればお願いします。

大変だったのは、製本の際にレースを貼ったことです。それと、夏休みに入ってしまったので原稿を集めるのも大変でした。楽しかったことは、絵本の文章はリレー小説形式をとったので、次の自分の番はどんなところから文を書くのか、ということでした。

絵本がみんなの力で完成したのが何よりも嬉しいです。たくさんの人に読んでもらいたいと思います。

・最後に一言お願いします。

初めて展覧会を開かせていただき、考房『ゆめ』の方にはとても感謝しています。作品はやはりたくさんの方々に見ていただきたいので、こういう機会はとてもありがたかったです。MICの作品をたくさんの人に見ていただきMICの向上につなげたいです。初めてで準備など手間取ってしまいましたが、こうして開催できたことがとても嬉しかったです。

サークル長 総合経営学科3年 折井綾香さん

松本大学写真サークル写真展 飛び出せ青春！

・テーマは『青春』なぜこのテーマを選んだのですか？

サークルメンバーが思うそれぞれの『青春』が写真に撮れると思ったからです。私自身メンバーの作品の出来上がりが楽しみでした。私の撮った写真は空の写真。曖昧な空の色が青春だと思ったからです。

・お客さんからの評判はどうでしたか？

『大学生らしい作品』『自分の学生時代を思い出して懐かしい』という言葉をいただく反面、『もっと高度な作品を』『写真に説明やタイトルが欲しい』という厳しいお言葉もいただきました。また、大人の方にはよく来ていただいたのですが、子どもの来場は少なかったです。老若男女すべての人が入り易く、楽しめるような会場の雰囲気作りや、作品を撮ることが今後の課題になりそうです。

・最後に……

写真サークルの立ち上げからまだ2年目ですが、自分なりに一生懸命やってきました。挫折や苦しいこと、辛い思いもたくさんしましたが、サークルのメンバーや大学教職員の方々など、大勢の人に助けられようやく展覧会というひとつのかたちを作り上げることができました。まだまだ未熟な面があり、発展途上のサークルですが、頑張っていますので温かく見守っていただくと嬉しいです。

サークル長 松商短期大学部2年 赤沢瞳さん

★コミュニティバスを使っの旅★

お店で楽しい縁側づくり みすずや



9月15日(水)に松本市西部地域コミュニティバスを利用して、松本空港へ行ってきました。空港内のレストランでお昼を食べたり、札幌・福岡便の飛行機の発着陸をデッキから見たりして楽しく過ごすことができました。当日見ることができたのは、ピンク色の目にも鮮やかな可愛らしい飛行機でした。

私たちがみすずやでの活動に参加するようになって初めてのイベントでした。企画する中では戸惑いもありましたが、新村公民館の皆さんのご協力も得ながら、みすずやの古屋さんはじめ地域の方々との交流をより深めることができた旅になり、本当によかったです。

今回の活動で感じたことは、松本空港の玄関口まではコミュニティバスが運行せず、コミュニティバスの停留所から空港までだいぶ距離があるため往復ともに歩かなければならなかったことです。当日は雨に降られてしまったので特に不便に感じました。高齢者が利用する場合も考えて、空港の敷地内で乗り降りできるように検討していただけたらと思いました。

(松商短期大学部2年 深澤 絵理)



Information

学生がかかわるプロジェクトが11月に行う活動を紹介します！！

※お問い合わせは、松本大学地域づくり考房『ゆめ』まで
(平日9:30~18:30 TEL:0263-48-7213)

ゆうゆうの会絵画展

日時：11月7日(日)~11月14日(日) 11:00~17:00

場所：松本大学ゆめひろば(カタクラモール内)

内容：障害者の方が描いた絵の展示、作業所で作った手作りお菓子や小物、メンバーが作ったアクセサリーの販売を予定

子ども見守り隊&松本警察署展示会

日時：12月1日(水)~27日(月)

場所：松本大学ゆめひろば

内容：歳末防犯月間に合わせ活動紹介&防犯グッズの展示等

キッズスポーツスクール

日時：11月7日(日)、20日(日) 10:30~

場所：松本大学芝生グラウンド

内容：地域の子どもたちに「スポーツ」を通して、運動の楽しさ、友達づくりを教え、発育・発達に合わせた運動を行います。

上高地線沿線ウォーキング「準備会」

日時：11月13日(土)、14日(日) 両日とも9:00スタート(受付8:30) 雨天決行

場所：松本駅アルプスロ~新村駅6.5キロ、新村駅~新島駅8.0キロ

内容：上高地線沿線の「名所・みどころ」を探しながら晩秋のウォーキングを楽しみませんか。1日だけの参加も大歓迎!!どなたでもご参加できます。11月11日(木)が申込締切となります。次回の開催をお楽しみに!!

チーム青い空 交流活動

日時：11月13日(土) 9:00~13:00

場所：青い空ガーデン(塩尻市)

内容：知的障害児との畑仕事での交流活

新鮮ゆめ市場

日時：11月6日(土)、20日(土) 12月4日(土) 10:00~

場所：松本大学ゆめひろば

内容：生産屋さんの方の野菜や果物、大豆等の加工品の販売

手話学習・交流プロジェクト Sign 「聞こえないって何だろう?」体験

日時：11月17日(水) 17:30~19:00(予定) 確定次第地域づくり考房『ゆめ』HPにアップします。

場所：松本大学ゆめひろば(カタクラモール内)

内容：聞こえないという事を体験してみよう!聞こえない時に伝える手段を知ろう!11月14日(日)までにお申し込み下さい。

難聴児支援33(ミミ)がわりプロジェクト 講習会

日時：11月4日(木)、11月11日(木)、11月18日(木)、12月2日(木)、12月9日(木) 他1回

11:20~12:50(予定) ※この他小学校での現地実習あり。

場所：松本大学5号館511教室

内容：難聴児への学習支援のためのパソコン文字通訳講習会

★:.*☆*:° つぶやき ☆*:.*★:*

野菜市をやってみて、私はこの活動に参加して良かったと思いました。最近の野菜を作る大変さや価格などの事などについて、農家の方々と一緒に野菜を売りながら聞くことができました。その他にも会計などのお金の管理などもさせていただき、普通の生活をしていてはできない貴重な体験をすることができました。この体験をこれからの生活に生かしていきたいです。

観光ホスピタリティ学科1年 上條 伊代

お問い合わせ、ご意見、ご質問、ご感想等
ありましたら下記へご連絡下さい。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

Tel : 0263-48-7213(直通)

Fax : 0263-48-7216(直通)

E-mail: community@matsu.ac.jp